

市議会 6月定例会 行政報告（6月30日）

市議会 6月定例会最終日にあたり行政報告いたします。

新発田市と敬和学園大学との包括的連携に関する協定の締結について

新発田市と敬和学園大学との包括的連携に関する協定の締結について御報告いたします。

敬和学園大学は、平成3年4月の開学から、「新発田学研究センター」の運営や「まちカフェ・りんく」の経営など、大学内での学びを地域へと広げ、地域社会に貢献する人材の育成、コミュニティ再生を目指した活動を通して、まちづくり等に参画^{とう}いただいております。

このように開学以来の市と大学との連携は、四半世紀^{しはんせいき}が経過しておりますが、全国の自治体や大学が抱える人口減少や少子高齢化の急速な進行は、当市においても例外ではなく、喫緊の課題であり、大学にとりましても共通するものと認識しております。

そのため、今後更なる発展的協力関係を築くために、包括的な連携のもと、相互に協力し、地域社会の発展並びに教育、研究及び人材の育成に寄与することを目的に協定を締結するものであります。

連携項目としましては、地域活性化に関すること、安心安全なまちづくりに関すること、教育・文化の推進に関すること、生涯学習の推進に関すること、福祉の向上に関すること及び人材育成

に関する6項目を掲げ、大学と市、双方にとって有益で継続性のある連携を進めたいと考えております。

今後は、7月7日に包括連携協定を締結し、協議会を立ち上げ、国が進めております「まち・ひと・しごと総合戦略」の趣旨を念頭においた取り組みを検討するとともに、新たに建設される駅前学生寮内での学習支援、図書整理、インターンシップの拡充等による地元企業との関わり強化など、活動を吟味し、魅力あるまちづくり、若者の地元雇用や定住につなげ、地域発展に結びつけたいと考えております。

以上で、行政報告を終わります。